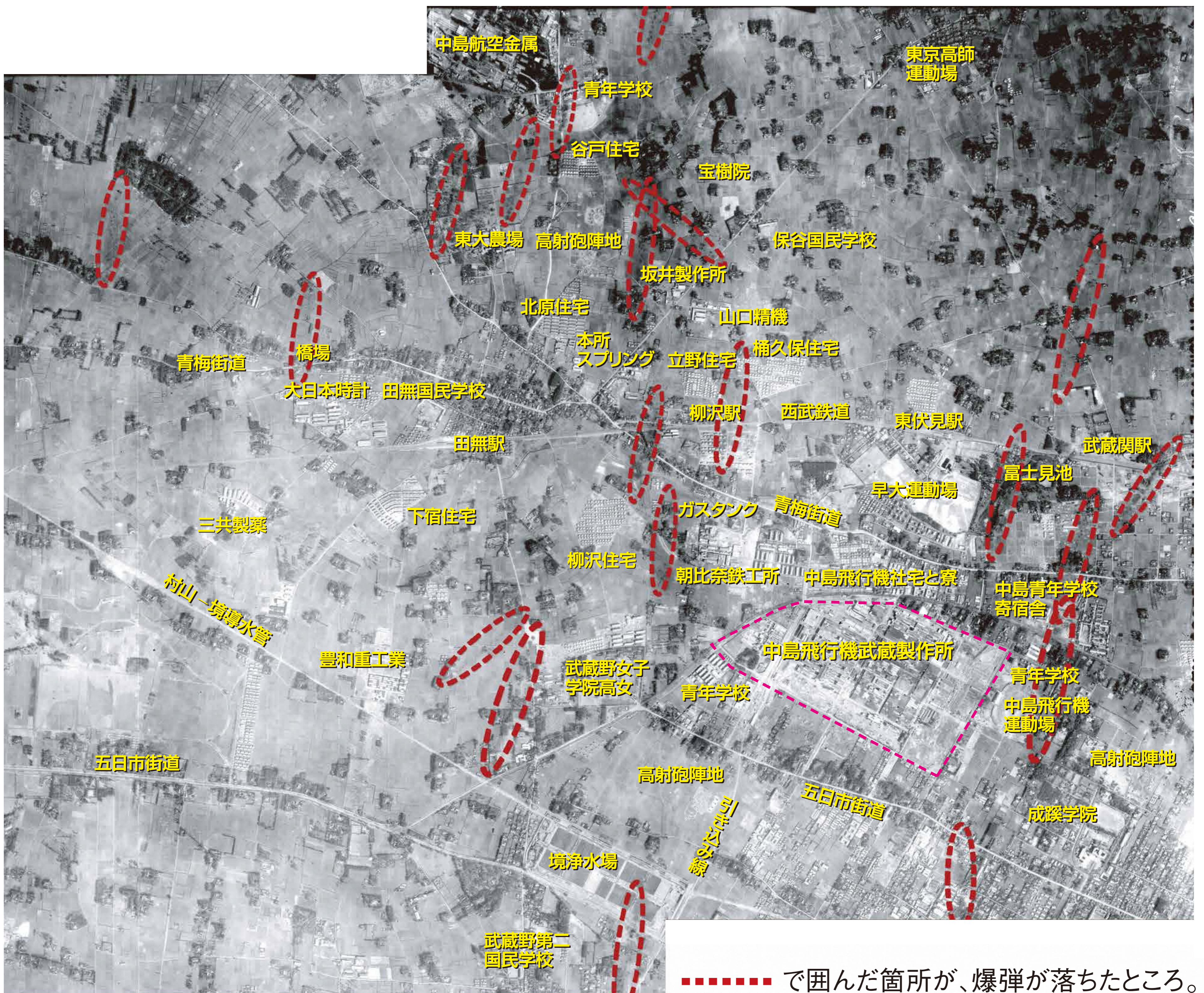


1945年4月2日の空襲

1945(昭和20)年4月2日の午前2時半から3時半頃にかけて、北多摩東部地域に対して米軍による激しい空襲がありました。これは中島飛行機武蔵製作所(現・武蔵野市)をねらったもので、同工場に対する唯一の夜間空襲でした。照明弾と「時限爆弾」が使用され、いつ爆発するのかわからない恐怖の底に人々を陥れました。西東京市域では約80名が犠牲になりました。



この空中写真は、未明の空襲から数時間後の午前10時前後に米軍の偵察隊によって撮影された。マリアナ諸島から飛来した121機のB29のうち115機が日本上空に到着し、1機が36発の爆弾を低空から投下したため、地上にはほぼ一直線に爆弾の炸裂痕が残った。

(アメリカ国立公文書館所蔵、(財)日本地図センター提供)

解説:牛田守彦氏